



第21回

# 和辻哲郎文化賞

募集要項

姫路市

## ◆趣旨

姫路が生んだ哲学者和辻哲郎（明治二十二年～昭和三十五年）の幅広い業績を顕彰し、あわせて研究者の育成と学術、文化の推進に資するため、昭和六十三年度に姫路市が創設しました。

一般部門は、和辻哲郎が文学、歴史、芸術などさまざまな領域において横断的かつユニークな著作を世に問い、広範な読者に訴えかけたスケールの大きな学者であったことに鑑み、文化一般におけるすぐれた著作に与えられます。

学術部門は、和辻哲郎が専門とした哲学、倫理学、宗教、思想、比較文化といった領域での学術的水準を備えた、すぐれた論文に与えられます。

## ◆選考委員

### 〔一般部門〕

陳 舜臣（作家）  
梅 原 猛（哲学者）

山 折 哲 雄（宗教学者）

### 〔学術部門〕

坂 部 恵（東京大学名誉教授）

関 根 清 三（東京大学教授）

黒 住 真（東京大学教授）

## ◆賞

正 賞 蒔絵源氏絵千姫羽子板

副 賞 百万円

## ◆対象

### 〔一般部門〕

平成十九年（二〇〇七年）九月一日から平成二〇年（二〇〇八年）八月三十一日までに発刊された（復刊は除く）著作物（単行本）の中で、日本文化、伝統文化、風土と人間生活との関連等に関するもので国際的普遍性、斬新な視点及び深い思索性のある評論。

### 〔学術部門〕

平成十九年（二〇〇七年）九月一日から平成二〇年（二〇〇八年）八月三十一日までに発刊（復刊は除く）または発表された著作物（単行本または雑誌掲載論文等）の中で、哲学、倫理学、宗教、思想、比較文化等に関するもので高い水準に達した論文。

※「一般」「学術」の区分について、詳しくは姫路文学館までお問い合わせください。

## ◆募集方法

どなたでもご応募できます。自薦、他薦は問いません。（全国の大学等研究機関、図書館、出版社、報道関係等の諸機関に周知および推薦を依頼しています。）

## ◆応募規定

付属の推薦用紙等に左記の項目を明記の上、姫路文学館までお送りください（ファクシミリ、電子メールでも可）。推薦の際、作品を送っていたかどうか必要はありません。

- ①部門（一般部門・学術部門）
- ②推薦作品名（ふりがな）
- ③著者名（ふりがな）
- ④出版社名
- ⑤出版（発表）年月日
- ⑥推薦者名（ふりがな）
- ⑦住所
- ⑧郵便番号
- ⑨電話番号

※このほか推薦理由などございましたらお書きください。

姫路文学館 〒670-0021 兵庫県姫路市山野井町84番地

電話 079-2693-8228 FAX 079-2698-2533

E-Mail kyo-bungaku@city.himeji.hyogo.jp

●当館のホームページから推薦用紙をダウンロードいただくこともできます。  
<http://www.city.himeji.lg.jp/bungaku/>

締切 平成二〇年（二〇〇八年）九月五日（当日消印有効）

## ◆発表

平成二十一年（二〇〇九年）二月（予定） 報道機関を通じて発表します。

## ◆授賞式

平成二十一年（二〇〇九年）三月一日（日）

# これまでの受賞作品

- 第一回（昭和六十三年度）  
一般部門 大久保喬樹『岡倉天心』（小沢書店）  
学術部門 ウィリアム・R・ラフルーア『廃墟に立つ理性―戦後合理性論争における和辻哲郎の位相』（『戦後日本の精神史』岩波書店 所収）
- 第二回（平成元年度）  
一般部門 宇佐美 斉『落日論』（筑摩書房）  
学術部門 上山 安敏『フロイトとユング―精神分析運動とヨーロッパ知識社会』（岩波書店）
- 第三回（平成二年度）  
一般部門 中西 進『万葉と海彼』（角川書店）  
学術部門 永積 洋子『近世初期の外交』（創文社）
- 第四回（平成三年度）  
一般部門 野口 武彦『江戸の兵学思想』（中央公論社）  
学術部門 ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』（ベリかん社）
- 第五回（平成四年度）  
一般部門 郡司 正勝『郡司正勝刪定集』全六卷（白水社）  
学術部門 大森 莊蔵『時間と自我』（青土社）
- 第六回（平成五年度）  
一般部門 土居 良三『咸臨丸海を渡る』（未来社）  
学術部門 加藤 尚武『哲学の使命』（未来社）
- 第七回（平成六年度）  
一般部門 堀田 善衛『ミシエル城館の人』全三卷（集英社）  
学術部門 山内 昶『「食」の歴史人類学』（人文書院）
- 第八回（平成七年度）  
学術部門 関根 清三『旧約における超越と象徴』（東京大学出版会）  
一般部門 井上 義夫『評伝 D・H・ロレンス』全三卷（小沢書店）  
学術部門 阿部 良雄『シャルル・ボードレル』（河出書房新社）
- 第九回（平成八年度）  
一般部門 長谷川三千子『パベルの謎』（中央公論社）  
学術部門 小野 清美『テクノクラートの世界とナチズム』（ミネルヴァ書房）
- 第十回（平成九年度）  
一般部門 徳永 恂『ヴェニスへのゲットーにて―反ユダヤ主義思想史への旅』（みすず書房）  
学術部門 一ノ瀬正樹『人格知識論の生成―ジョン・ロックの瞬間』（東京大学出版会）
- 第十一回（平成十年度）  
一般部門 嶋田 義仁『稲作文化の世界観―「古事記」神代神話を読む』（平凡社）  
学術部門 佐々木 毅『プラトンの呪縛―二十世紀の哲学と政治』（講談社）
- 第十二回（平成十一年度）  
一般部門 西村 三郎『文明のなかの博物学―西欧と日本』（紀伊國屋書店）  
学術部門 渡辺 京二『逝きし世の面影―日本近代素描Ⅰ』（葦書房）
- 第十三回（平成十二年度）  
学術部門 宇都宮芳明『カントと神―理性信仰・道徳・宗教』（岩波書店）  
一般部門 稲賀 繁美『絵画の東方』（名古屋大学出版会）
- 第十四回（平成十三年度）  
一般部門 岡野 弘彦『折口信夫伝―その思想と学問』（中央公論新社）  
学術部門 山折 哲雄『愛欲の精神史』（小学館）
- 第十五回（平成十四年度）  
学術部門 ケイト・W・ナカイ『新井白石の政治戦略―儒学と史論』（東京大学出版会）  
一般部門 長部日出雄『桜桃とキリスト―もう一つの太宰治伝』（文藝春秋）  
学術部門 木村 敏『木村敏著作集第七卷 臨床哲学論文集』（弘文堂）
- 第十六回（平成十五年度）  
一般部門 植村恒一郎『時間の本性』（勁草書房）  
学術部門 秋山 駿『神経と夢想―私の『罪と罰』』（講談社）
- 第十七回（平成十六年度）  
学術部門 塩川 徹也『バスケル考』（岩波書店）  
一般部門 平川 祐弘『ラフカディオ・ハーン―植民地化・キリスト教化・文明開化』（ミネルヴァ書房）  
学術部門 井上 達夫『法という企て』（東京大学出版会）
- 第十八回（平成十七年度）  
一般部門 新倉 俊一『評伝 西脇順三郎』（慶應義塾大学出版会）  
学術部門 佐藤 康邦『カント』『判断力批判』と現代―目的論の新たな可能性を求めて』（岩波書店）
- 第十九回（平成十八年度）  
一般部門 大泉 光一『支倉常長―慶長遣欧使節の真相―肖像画に秘められた実像』（雄山閣）  
学術部門 今道 友信『美の存立と生成』（ピケナス出版）
- 第二〇回（平成十九年度）  
一般部門 岩下 尚史『芸者論―神々に扮することを忘れた日本人』（雄山閣）  
学術部門 伊藤 邦武『パースの宇宙論』（岩波書店）

T. Watsuyi



思い出のムクの木  
(故郷姫路市仁豊野の風景)